

【評価対象年度 2019年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市ふるさと農具館		
施設概要	【所在地】 町田市野津田町2288番地 【開設年月】 1992年4月 【開館日時】 火曜日～日曜日／9時30分～16時30分(11月～1月は9時30分～16時) 【施設面積】 404.57㎡ 【施設内容】 ふれあい館(151.52㎡)、体験実習館(133.9㎡)、パネル館(99.28㎡)、菜種貯蔵庫(19.87㎡) パネル館…市の農業などに関するパネルを展示している ふれあい館…昔から使われてきた農具の展示や生活様式の紹介をしている 体験実習館…月に一度油しぼりの実演を行っている		
設置目的	町田の農業を後世に継承するため、また多くの市民に農業への理解を深めてもらうため。		
設置根拠法令・条例	町田市ふるさと農具館条例		
所管部課	経済観光部農業振興課	問合せ先	042-724-2166
施設ホームページURL	http://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/sangyo/nougyo/shimintonou/agri02.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	七国山ふれあいの里組合	法人番号	なし
指定管理者所在地	町田市野津田町2452番地		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)町田市ふるさと農具館の管理運営に関する業務 (2)なたね油製造に関する業務 (3)裏山散策緑地の管理に関する業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
小学校の社会科見学を増やし、菜種のサンプル配布も行う	2023年度	検討中
七国山地区の景観につき1年を通して関心を持っていただくよう、その花の開花時期が分かるマップの作成し、配布する	2019年度	マップを作成し、来館者へ配布を行った。
農業への関心を深めてもらうよう施設パンフレットの改訂を行う	2019年度	施設パンフレットの改訂を行った。

3. 昨年度の課題

内容	利用者の満足度を図るアンケート結果について、満足度は高かったものの、回収枚数が少なかった。より信憑性のあるデータを収集するために、アンケートの回収枚数の増加が必要がある。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	アンケートの回収枚数は昨年度よりも減少した。来館者が野菜購入を目的としたリピーターが多いため、回答を得られなかった。来館者数および団体利用は減少傾向にある。一因として、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため3月に閉館した影響もあるが、展示方法や資料等の更新がなく、施設の魅力を向上させる取り組みが低いことが大きな要因と考えられる。 施設のパンフレットの改訂も年度末であったため、効果については今後期待したい。 団体利用による小学生の農機具見学こそ、施設設置目的に沿う利用方法なので、地元の農業者で組織されている団体である強みを生かし、身近な体験談や親しみのある案内を通し、利用者増加に努めてほしい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	利用者の要望によりトイレの照明をLEDに交換し、施設の利用改善に努めた。 パンフレットの大幅改訂を年度末に行った。分かりやすくし、農業に親しみを持てるような内容にしたので、利用者の増加に繋がるよう工夫した。 アンケート回収については、昨年度よりも枚数が少なくなりました。利用者が野菜購入のリピーターが多いため、今後新規利用者からアンケートを回収できるよう工夫したい。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2019年4月～2020年3月 【回収枚数】 39枚 【調査方法】 配布および設置方式
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:80%以上 B:50%～80%未満 C:50%未満	95%	94.9%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	95	95	95	95	95
実績値	94.9				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
団体利用数	A:50組以上 B:30組～49組以下 C:29組以下	50組	59組	A	
指定期間内における実績(単位:組)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	50	50	50	50	50
実績値	56				

指標3	目標	結果	評価		
施設利用者数	A:35,000人以上 B:25,000人～34,999人以下 C:24,999人以下	30,000人	19,880人	C	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績値	19,800				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から施設を閉館したことも影響し、団体利用数および施設利用者数は減少した。利用者数増加に向け、施設に訪れたいようなイベント等の検討を行ってほしい。 アンケートについても、昨年度より回収枚数が減少したので、回収方法を工夫し、多くの利用者の声を聞き、事業に反映させてほしい。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者に対し平等・公平な対応がおこなわれているか	来館される方は、どなたにでも同じ対応が出来る。	来館される方には、どなたにでも平等・公平な対応が行われている。	適
	一般利用者の施設利用は妨げられていないか	利用の妨げになるような事案が発生していないか常に気配りしている。	団体利用がある場合は、人員を増やし一般利用者の施設利用が妨げられないよう努めている。	適
施設の運営方針・管理方針	設備機器(消防・防災・空調等)の安全管理・保守点検等	定期点検を実施している。	業者による点検を実施している。	適
	施設と法人(団体)本部との間で十分な連絡や調整がなされているか	定期的に連絡を取り合っている。	本部役員会で連絡・調整が行われている。	適
	物品の管理は適切か(協定書等による取り決めの範囲において)	物品を丁寧に取り扱い、管理を行っている。	物品は丁寧に取り扱い、適切に管理している。	適
	清掃業務等が適切に行われているか	施設を清潔に保っている。	毎日の職員の清掃に加え、業者による清掃も行われており、施設を清潔に保っている。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護のための体制	個人情報保護の体制ができています。	個人情報保護の規定を作成している。	適
	個人情報の管理	施錠した保管庫に保管している。	個人情報に関わるものは施錠できる保管庫で管理している。	適
要望対応	苦情、要望等の情報の職員間の共有と対策	職員間で情報共有し、対策案を出せている。	職員間で情報共有し対策案を出す体制がある。	適
	苦情、要望等の市への報告	市職員に苦情、要望を迅速に伝えている。	市職員に迅速に伝える体制がある。	適
危機管理	危険防止や不良箇所の早期発見に努めているか	毎日簡易点検を実施する。	施設内外の見回りを毎日行っている。	適
	事故発生時の適切な対応	緊急時の連絡体制が職員間で周知徹底されている。	連絡網を作成し、職員間で周知徹底されている。	適
人的安定性	職員間の情報共有	定期的な情報共有がなされている。	打ち合わせや職員間の連絡ノートにより情報共有がされている。	適
	職員の勤務条件は適切か	協定書の通り適切に勤務している。	協定書の通り勤務している。	適
管理経費の縮減	指定管理に関する経費の適正使用	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	適
	利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減ができていないか	費用対効果を吟味し経費を支出している。	節電など利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減している。	適
地元貢献	地元住民が利用できる施設になっているか	地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	地元でとれた野菜の販売などの地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	適
	地域、関係機関、近隣住民と良好な関係を保つ	開館時のトイレの開放と、路上駐車防止に努めている。	路上駐車があった際は、近隣駐車場の案内を行い、路上駐車防止に努めている。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、月次報告書および現地確認、アンケート結果にて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	6,625	6,625	6,625		6,625		6,625		6,625	
	利用料金	-	-	-		-		-		-	
	自主事業	0	1,096	0		0		0		0	
	その他	0	0	0		0		0		0	
	計		6,625	7,721	6,625	0	6,625	0	6,625	0	6,625
支出	人件費	4,601	4,558	4,601		4,601		4,601		4,601	
	維持管理経費	1,070	1,054	1,070		1,070		1,070		1,070	
	自主事業	0	2,065	0		0		0		0	
	指定管理料返還金	0	19	0		0		0		0	
	その他	954	994	954		954		954		954	
	計		6,625	8,690	6,625	0	6,625	0	6,625	0	6,625
総計(収入-支出)		0	-969	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	116.0				
負債比率	0.0				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理業務については、不必要な支出はなく、日頃から経費削減に努めているため適とする。 自主事業に関し、来年度より指定管理組合の予算より独立させて管理すること。